



「日の出」
(平柴・藤原公園より)

謹んで新春のお慶びを
申し上げます



発行所
長野市立安茂里公民館
電話 226-4059
発行人 新見 宏司
発行月 5.7.9.11.1.3月
(株) 信光社

安茂里地区
世帯数と人口
(12月1日現在)

世帯数	9,170戸
総人口	20,546人
男	9,874人
女	10,672人

「明けましておめでとうござ
います」2022年新しい年
が明けました。
さて、今年も寅年でも36年
に一度の「五黄の寅」に当た
るそうです。十二支について
は普段から知っているものの
占いとカ運勢を気にしない者
にとつて九星紀学というもの
があまり分からないので調べ
てみました。五黄土星生まれ
は「とにかく運氣が強大」そ
して寅年生まれは「強い正義
感と信念の持ち主で困難を克
服する強い意志と行動力があ
る」といわれるそうです。そ
の為この二つが一緒になった
「五黄の寅」に生まれた人は
最強の運勢を持っていると言
われるそうです。その反面、
女性の場合はあまりに強すぎ
ることから丙午と同様、その
昔は男性を尻に敷くとか夫の
寿命を縮めると忌み嫌われた
そうです。しかし時代は流れ
女性の社会進出が普通になっ
た現代、最強の運勢を味方に

どんどん活躍してやる：くら
いの気概を持つていいのでは
ないでしょうか。今年36歳に
なる昭和61年生まれと72歳に
なる昭和25年生まれの女性に
もメールを贈ります。
ところで、年明け北京冬
季オリンピックの開催が間近
に迫ってきました。2月4日
に開幕する大会には世界中か
ら多くのアスリートが集まり
ます。東京オリンピックは無
観客での開催になり観戦を楽
しみにしていた人たちも選手
たちも残念な展開になってし
まいました。選手にとつて観
客の存在とその歓声は自分の
力を発揮するのに大きな励み
になるに違いありません。オ
ミクロン株の感染拡大が心配
されますが、北京大会は観客
を入れての開催が実現するこ
とを願うばかりです。また年
末年始は国内でも駅伝、ラグ
ビー、サッカー、バスケット
ボール、バレーボール、アメ
フト等大きな大会が目白押し
で、スポーツ好きには心弾む
たまらない日々が続いていま
す。大会ごとに条件は違いま
すが、沿道で或いは会場だと
実際に現地まで応援に行かれ
る人も多いかもしれません。
コロナ対策はおさおさ怠りな
く。

杏仁

新年早々ではあり
ますが、政府が発表
した2021年版自
殺対策白書によれば、
コロナ禍の中で
2020年1年間の女性の自殺
者が大幅に増加したと言いま
す。中でも職に就いている女性
の自殺者が1698人、前年ま
での5年間の平均と比べ3割
近くも増加したというのです。
その原因として考えられるの
が、非正規雇用として働いて
いた人たちの雇用環境が悪化
したことが影響したとみられ
る：という。このニュースを
聞いた時、衝撃と同時に大き
な憤りを覚えたものです。今
の時代の、この日本で、そ
のような原因でそれだけ多く
の人が自らの命を絶つという
ことが起きている。女性の全
就業者に占める非正規雇用者
の割合は54%、男性の約3
倍にのぼります。しかも都会
では女性の5人に1人が一人
暮らしという現実があります。
職を失い将来に向けた不安か
らくる悩みだったのか、コ
ロナ禍で自由に人と会えず
相談もできない、一人で悩
みつづけた結果であったのか
。そういう人たちにやさしく
寄り添う世の中でありたいと
多くの人が思っているはずな
のに：



公民館講座 の紹介

ブラザーモリ!!

ふるさと再発見!!

第三回 (最終回)

安茂里公民館の生活文化講座「ブラザーモリ」の三回目が、十一月十七日に行われた。

最終回の今回は小市地区で、

当日は小春日和の好天気にも恵まれ充実したブラりふるさと再発見のひと時となった。安茂里地区を貫く旧大町街道を中心とした見学会であったのも、「道」が人々の生活と密着しながらも古くから交通、交易を通して地域を発展させてきたからであった。今回の小市地区も同様であるが、それに加えて犀川との関係がより深いものがあるといえる。他地区に比べ、小市は裏山と犀川に挟まれた二等辺三角形のような狭い土地の中央を大町街道が走り眼前には犀川が迫る地で、街道とともに小市の渡しが果たしてきた「道」としての役割を持っていたといえる。

古くは応永七年(一四〇〇)の大塔合戦の折に、小笠原長秀は善光寺から小市の渡しを利用して篠ノ井岡田近辺の横田河原に向かったというし、小林一茶も犀川の谷間に見える白い頂きを指して「五月雨(さみだれ)や 雪はいづこの志(し)なの山」と詠んでいる。また戸隠講の人々にとっては小市から深沢土合を経て戸隠神社に向かう信仰の道筋でもあった。



こうしたなか昭和一〇年に木造の小市橋ができ、物流の大きな変化が起こった。篠ノ井線が走り川中島駅を利用する人々が多くなって、川向こうとの往来もより活発となった。昭和三七年の大雨で橋が流されるとまた渡しが復活し、会社や通学、山から採ってきた焚き物の運搬にと五年間ほど利用されたが、昭和四一年に現在の小市橋が完成した。

この渡し役割とともに、弘化四年(一八四七)三月の善光寺地震の折には、御開帳の最中で、善光寺界限は火事や建物の倒壊等大きな被害が出たが、西山地域一帯も地滑りや建物の倒壊が激しかった。小市の裏山に白い山肌が見えるのも、当時の山崩れによる地震の爪痕である。加えて被害を大きくしたのは、上流の岩倉山(信州新町道の駅の川を挟んだ東側の山で虚空蔵山とも呼ぶ)の崩落により犀川が六五呎の高さにせき止められてしまったことである。溜まった水が諏訪湖の四倍ほどの量のダム湖となり最奥は山清路あたりまでつき、いつ決壊してもおかしくなかった。二〇日程して決壊した水は小

田切口から善光寺平一帯に襲いかかり、犀口(さいぐち)に近い小市は甚大な被害を受け、街道沿いの大半の家が流されてしまった。後の弘化五年には幕府の国役堤防や松代藩による堤防が築かれ、小市橋手前に現存している。上流から流れ着いた大石を、塚田家のように屋敷に引き入れて「だるま石」と呼んで庭石としていた例もある。



ことを祈願したという。続いて、ムラ内の称名寺と無常院を参拝する。両寺ともいわれのある古刹で、ご住職から説明をいただいた。称名寺の本堂は弘化の善光寺地震の際にも潰れず近郊ではそれ以前の古い建築様式を残す貴重な建物であること、無常院の寺宝・銅像阿弥陀如来及び両脇侍立像は秘仏であり善光寺如来分身仏として令和二年長野県宝に指定されている。

また、街道沿いはかつて馬市で賑わい、越後、越中、加賀、奥州などからも買い付けの人がやって来た。五、六頭は松代藩が買い後は払い下げで一般に売られたが、上町と下町には木戸が設けられこの間で馬市が開かれた。馬市の期間中はムラ人や旅の者は街道を通ることが難しいので、無常院前から称名寺に通じる裏街道と呼ぶ細い抜け道を利用していたという。また無常院境内には馬頭観音を本尊とする中見堂観音が祀られているが、馬市と関係が深い。続いて塚田佐氏宅に行き、洪水で流されてきた「だるま石」のことや白土産業の話聞く。

このように近世までは、善光寺平を流れる千曲川、犀川の矢代・赤坂・寺尾・関崎・布野・小市・市村の七つの渡しが果たした役割は大きかった。唯一橋が架かっていたのは、久米路橋のみであった。

このように近世までは、善光寺平を流れる千曲川、犀川の矢代・赤坂・寺尾・関崎・布野・小市・市村の七つの渡し

易の利点とともに水害の危険も合わせ持つ地であるが、山の中腹にある志奈埜市神社の権現様は、戦後間もなくまでは飢饉の際の雨乞いに使われ、日照りの際には木製の権現様を犀川の水に浸けて雨が降る

犀川沿いの土手にはかつて

白土の玉抜き乾燥の小屋やたまりと呼ぶ沈殿池があつて、磨き粉等に出荷されていた。

またミヨウバンも産出され、防水剤、皮なめし、井戸水を濾したり洗眼用にも使われた。

最後は最近脚光を浴びてきた、旧海軍司令部の地下壕を見学した。二日前に壕の入口を広げる工事をしたため、壕の奥まで見られるようになり

ありがたかつた。壕の保存活動や資料館を充実させたりと、地域の有志の皆さんが熱心に

取り組んでいる様子を見聞きでき、参考になった。この有志の皆さんは、冒頭の一茶句

碑の建立にも携われられ、小市の歴史の掘り起こしに積極的に関わっておられることに頭

が下がる。三回の講座を終え、安茂里のムラムラを大町街道という

「道」を軸に考えてきたが、道の果たす役割は動脈に似て、

人的、物的にも私たちにとつて栄養を運んでくれる大事な存在である。他地域から移住

してきた人の方が多い昨今、今後も地域をより深く知り、愛着の持てる安茂里となる講座を考えていきたい。

(元安茂里公民館館長 多田井幸規)

楽しく歌おう愛唱歌

毎回、歌を愛する多くの人が参加するこの講座、今回も定員いっぱい

の50人が参加されました。今回もコロナ対策の為マスクをした窮屈な中での講座となりました

が、上村先生指導の下、服部先生のピアノ伴奏にのせて皆さん元氣いっぱい歌を歌いました。現在も合唱を楽しんでいる人や過去に合唱を経験したという人が多く、講座が進むにつれ声も大きく綺麗な

歌声が会場に響くようになりその素晴らしさに聞きほれてしまうほどです。歌が不得意な人でも上手になったような不思議な感覚にさせられるこの講座に是非皆さんも一度参加してみてもどうですか。

加しては是非皆さんも一度参



ジャズに魅せられて

おおよそ半世紀・50年前の信州大学長野キャンパスで学んでいたジャズ好きな若者たちが集まって結成されたモダン

ジャズのグループ「モダンデュークス」。高齢化が進んだことから今年メンバーの半分近くが入れ替わり、「ニューモダンデュークス」と新しく生まれ変わって来館

してくださいました。前半はドラム、ピアノ、トランペット、ベースの4人編成の演奏で、定員いっぱい集まった30人のジャズ好きな人たちが「鈴懸の径」や「A列車で行こう」など往年のスタンダードナンバーで楽しませてくれました。

そして後半に入って女性



ボーカリストの渋谷レイコさんが登場すると会場も一際華やかに、ジャズバージョンでの「枯葉」など素敵な歌声が会場を包み、訪れた人たちは大きな拍手を贈っていました。「よーし、今夜は洋酒を片手に久しぶりにブージャでも聞かか」と思った人いたかなー？

あわてんぼうの

サンタクロース

安茂里公民館に

やってきました!!

未就園児の親子を対象にした「なかよし広場」。前半はクリスマス会の準備です。紙をくるくる巻いて魔法の鈴、緑の画用紙でクリスマスツリーの帽子を作りました。さあ、

クリスマス会の準備はオツケイ！庄村光子先生のスケッチブックシアターを見たあとは「あわてんぼうのサンタクロース」を歌います。歌っていると、「シャンシャンシャ

ン♪」どこからか鈴の音が…。サンタさんとトナカイさんが登場です。少しだけ泣いてしまった子もいましたがみんなニコニコ顔です。よい子のみ

んなにプレゼントが、わたされました。サンタさん、今日は12月8日ですよ。♪あわてんぼうのサンタクロース クリスマス前やってきた♪ 歌詞どおりのちよつとだけあわてんぼうのサンタさんでした。



豊かな生活育てましよう
安茂里公民館226-4059

生活文化講座

◎時代の見方・考え方②

講師 信濃毎日新聞 論説委員
日時 2月9日(水) 午後1時30分
申込み 15名
1月19日(水) 8時30分

◎楽しく歌おう愛唱歌③

講師 上村 まり子先生 服部 秀子先生
日時 3月4日(金) 午後1時30分
申込み 50名
安茂里地区にお住まいの方
2月10日(木)
その他地区にお住まいの方
2月17日(木)
両日とも8時30分

◎文学講座

「源氏物語」光源氏と

ライバル頭中将
講師 堀井 正子先生
日時 3月15日(火) 午後1時30分
申込み 30名
2月22日(火) 8時30分



～住民自治協議会より～
リンゴ狩りのお礼の挨拶
12月10日、裾花中学校の生徒たちが「リンゴ狩り」のお礼にと住民自治協議会に挨拶に訪れました。昨年までは信更町まで出かけていましたが、生徒たちに地区内との交流を深めてもらいたいと今年はお市の岡村農園さんで「リンゴ狩り」を楽しみました。秋晴れの11月24日、同行の先生や住自協の役員など20人で訪れた農園で、参加した9人の子供たちは普段の学校生活ではできない体験に大喜びでリンゴをまぎ取っていました。リンゴ狩りの後、近くにある小市の海軍部壕も訪れ、生徒たちはこれまで知らなかったという安茂里の歴史にも触れていました。

成人学校の授業が自由に見られます

公民館主催の成人学校の見学会を下記の日程で行います。見学の予約は不要ですが、講座によって曜日と時間が異なりますので、まずはお電話でお問い合わせください。
見学期間：1月17日(月)～2月18日(金)
月曜 ★初心者の手あみもの(午前) ★英会話初級(午後)
火曜 ★書道(午前) ★実用英会話(午後)
木曜 ★水彩画(午後) ★ポールを使ったストレッチ(午後)
金曜 ★かな書道(午前)
お問い合わせ・・・026-226-4059
(平日8:30～17:15)

第45回 囲碁将棋大会について
(地区対抗戦)

日時 2月6日(日)
受付 午前8時30分
開会 午前9時
場所 安茂里公民館
参加費 600円
(参加者負担・昼食代含む)
申し込み期限は 1月24日(月)まで
※各地区公民館長がとりまとめているのでお問い合わせください。

令和4年度 安茂里公民館利用者説明会のご案内

日時 2月15日(火) 午後2時～
場所 安茂里公民館 2階集会室(ホール)

令和4年度に安茂里公民館および小市分室の利用を希望しているサークルの代表の方はご出席ください。

令和3年度 安茂里地区 人権を考える住民の集い

日時 1月15日(土) 午前10時30分
場所 安茂里公民館
講師 NPO法人 日本精神療法学会理事長 松本 文男先生
演題 「コロナ禍における子どもの人権を考える」
申込み 50名
1月11日・12日・13日 8時30分

安茂里地区成人祝賀式のご案内

例年と日程が変更になっています。

密を避けるために、受付時間を30分繰り下げました。

日時 令和4年1月8日(土) 13時から15時(12時00分受付開始)
場所 安茂里公民館(安茂里総合市民センター)
対象者 平成13年4月2日から平成14年4月1日の間に生まれた方